

5.30 革労協(社会党青同)解放派(政治集会)

- 六・一五〜六・二三の安保最終決戦に総決起せよ!!
- 拠点政治ストの実現からゼネストを追求せよ!!
- "工場" "学園" "地域" からの反乱を

政治中枢(国会・首相官邸)へ集中せよ!!

労働者、学生、市民の皆さん!!

アジア太平洋圏の労働者、人民を「戦争とファシズムと労働監獄」という「暗黒」の中にたたき込む「七十年安保」に対する決戦は、目前にせまってきました。

ベトナムのみならず、カンボジアであるいは、インドシナ半島全域で人民への虐殺が拡大されています。

今、こうしている中でも、一人一人人民の生命は、公然と消されつつあります。

アメリカでは、インドシナ戦争反対斗争に決起した四人の学生が射殺されました。「政治」という舞台の下で、労働者人民の闘いに対する大量虐殺が開始されています。

五月十五日よりひらかれるアジア会議こそ、アジア人民虐殺戦争と七十年安保の具体的な結びつきをバクロしたものです。

七十年安保こそ、アジア人民抑圧戦争への日本帝国主義の突撃なのです。

政治斗争に於ける公然たる虐殺だけではありません。

毎日、労働者、人民は、ただ資本が肥えよとるためにのみ、支配され、搾取され、その中で身体を生命をすり減らしています。

資本がわずかの利潤をあげるため労働者は労働災害で殺され、かたわらになって行きます。長年こきつかわれた労働者は今大量に進んでいる「技術革新——機械導入」の中でポンコツ化され、首切りになって行きます。そして、ポンコツ化される人間を作るために、教育の改悪が進んでいます。ますます片輪な、専門奴隷を作るための教育の中で、学生、生徒達は地獄のような受験競争に悩んでいます。また、低賃金のため共かせぎ夫婦がふえ、幼児の大半は保育所もなく放置されたままです。

そして闘う者に対しては徹防法・騒乱罪・大量逮捕等のファシヨ的弾圧が強化されています。

労働者、学生、市民の皆さん

今こそ、闘いに決起しようではありませんか!!

「戦争とファシズムと労働監獄」——「暗黒の七十年代」に対して、労働者人民の闘いで、自分達の未来を切りひらこうではありませんか。

進んだ闘い、そして今よりやく開始された闘い、それぞれが出来る限り最大限の闘いを開始し、全体として結びついて行いではありませんか。

「支配」は何よりも「人民」の上に成立しているのです。従って、労働者人民がそれぞれの闘いを開始した時それは支配者の「死滅」の開始なのです。

拠点の工場、学園からの決起を「前衛」としてあらゆる社会矛盾をあばき出し、政治権力へたぐきつけようではありませんか。その闘いをあらゆる地区で六月共同斗争委員会を作りそれに収約しよう安保決戦勝利の展望はこれしかないのです。

それぞれが自分の苦しみを結びつけ六月へ向けて総進撃を開始しよう!!

六月決戦の方針を確立するため革労協集会に結集しよう。

- あらゆる地区に六月ゼネスト委

(六月共同斗争委員会)を結成せよ

- プロレタリア統一戦線の旗を高くかかげて前進せよ!!

- 安保粉碎・沖縄人民解放・帝国主義ブルジョア政府打倒!!

品川公会堂 (国電 大井町下車)

— 五 時 半 三 時 —

主催・革労協